

平成19年度 第3回市民活動サポートセンター運営委員会 会議録

平成19年10月18日(木) 18:30~20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員 11名……飯塚、伊藤、井上、大島、小野、加藤、柴崎、鷹野、塚田、山本、渡辺
事務局 5名……YMC Aコミュニティサポート 安田、田邊、沼崎
市民生活課 佐藤、堀井

1 報告事項

次第に沿って報告を行った。

- ・情報コーナーのパソコンが故障したため、11月中に新しいパソコンを1台導入する。
- ・次回フォーラム実行委員会の時間を繰り上げ、11月7日17時30分からとすることとなった。

2 審議事項

提案どおり承認された。

[意見概要]

◆夏の市民活動体験スタンプラリーについて

(柴崎委員)

イベント情報ダイジェスト版はどういったものか。

(事務局:指定管理者)

例年は冊子タイプのイベント情報のみ配布していたが、学校などはなかなか生徒に行き渡らなかったので、A4サイズのイベント一覧作成し、学校側で印刷し、生徒に配布してもらうよう協力を呼びかけた。いくつかの小学校では配布の協力をしてくれており、参加者の増加に繋がった。

◆市民協働推進セミナーについて

(塚田委員)

参加者の男女比率はどうか。

(事務局:指定管理者)

男性がほとんど。女性は5人だった。

(柴崎委員)

セミナー終了後受講者の動向はどうか。受講後、地域デビューへつながっているかが重要である。

(事務局:指定管理者)

セミナー終了後、9月に茶話会を開いた際には、セミナー受講者から4人が参加した。フォーラムのチラシ等が出来たら受講者の皆さんにも送り、今後につなげていきたい。

◆市民協働推進フォーラムについて(中間報告)

(事務局:指定管理者)

皆さんに確認したいことが2点ある。まず「おとうさんお帰りなさいパーティー in 横須賀」というタイトルについて、実行委員会では特に話し合っていないが、昨年に引き続き使用してよいか。次に参加費を500円としたい。内訳は会場で配布する歌集を新宿ともしびから購入するのに350円、残りで飲み物と軽食をつける。

(井上委員)

名称について特に異論はない。「おとば」という名称の認知度はまだ低いかもしれないが、最近ではTVでも取りあげられているようだ。

(鷹野委員)

「おとぼ」という言葉にこだわらなくても良いのではないか。

(事務局：指定管理者)

チラシやポスターでは「うたごえ喫茶」を全面に出してアピールしている。「市民協働推進フォーラム」や「おとうさんお帰りなさいパーティー」という言葉はひかえめに表示するにとどめている。

(塚田委員)

事務局へも話したが、歌声喫茶へ来る人は女性が多く、今回のフォーラムにも女性が多く参加することが予想されるので、「おとうさん」だけだと違和感があるのではないか。「おとうさん、おかあさん、お帰りなさいパーティー」とした方が男女両方に受け入れられるのでは。

(事務局：指定管理者)

前回、このタイトルを初めて使ったときも女性から「女の人は参加できないのか」という質問があったが、事務局としては、地域との接点を持ちにくい団塊世代の男性に地域デビューのきっかけづくりや情報提供を行いたいという思いがあり「おとうさんお帰りなさいパーティー」というタイトルを使っている。チラシには女性も大歓迎という部分を目立つようにしたい。理想としては夫婦で来てほしいと思っている。今回はこのタイトルを踏襲していきたいと考えている。

(柴崎委員)

3ヵ年計画の最終年度ということで、昨年に引き続き利用してよいのでは。(他の委員も同意)
次に参加費について委員から何か意見はないか。

(井上委員)

歌集とワンドリンクで500円は妥当ではないか。

(伊藤委員)

昨年のフォーラムは300円でアルコールが出た。

(事務局：指定管理者)

歌集が350円かかる。歌声喫茶ともしびの歌集を記念としてお持ち帰りいただきたい。

(塚田委員)

無料の方が人を誘いやすいのではないか。

(加藤委員)

私は有料が良いと思う。500円を出す価値があるし、ワンコインだと集めやすい。

(小野委員)

500円の参加費を払うことによって、食べたり飲んだり歌ったりするだけでなく、本来の趣旨を参加者に意識を持って来てもらえるのではないか。

(渡辺委員)

歌集をともしびから購入することで著作権の問題はクリアできる。また、市役所的には税金が飲食に使われるのは問題がある。無料で飲み食いができるより、会費をとって参加者に負担してもらうのが好ましい。

(飯塚委員)

パーティーということであれば、アルコールを出してもよいのでは。

(事務局：指定管理者)

アルコールを出すとすると、参加費はもう少し高くなってしまう。昨年アルコールを出したのは、フォーラムの一番の目的が仲間づくりで、その手段として一杯くらいアルコールが入った方が滑らかに交流できるのでは

ないかという理由だった。今年は会の話を書いたり相談をすることが主なので、しっかり話を聞いたり相談したりするためにアルコールは必要ないと思う。

(鷹野委員)

定員200名で大勢の人が集まることが予想されるので、赤十字として救護コーナーを設置したい。

(事務局:指定管理者)

救護コーナーの設置は想定していなかったが、是非お願いしたい。

次回のフォーラム実行委員会は11月7日18時30分からだったが、1時間早めて17時30分からにしたい。

19時からヤンガーザンイエステイでうたごえ喫茶を開催するので、実行委員会終了後希望者は参加できるようにしたい。当日はフォーラムの宣伝をさせてもらうようにしている。

◆ 印刷機の料金改定について

(事務局:市民生活課)

来年1月から、印刷料金の変更、カラーコピー機の導入、パソコンからの印刷をカラーコピー機から行うようにする。10月から館内や情報広場及びサポートセンターのHPで周知を始めている。

(小野委員)

今までパソコンでの印刷とコピーは別々になっていたが、統合されたことで競合してしまう。パソコンの印刷とコピーをブックリングしないようにしてほしい。

(井上委員)

運用面で工夫が必要になるだろう。

(事務局:市民生活課)

コピー機がどのくらいの使用頻度になるかまだ分からないが、運用についてはスタッフと話し合い工夫していきたい。パソコンからの印刷は当面スタッフがついて行うようになると思う。

(飯塚委員)

町内会という名目で、飲み屋のゴルフコンペの印刷をしているグループがいた。印刷物のチェックはしているのか。

(事務局:指定管理者)

利用票で利用団体や利用状況の確認を行っているが、印刷物の内容まではチェックができていない。市民活動以外の営利的な活動を行わないように注意を促す張り紙をする。気づいた人は注意してほしい。注意しにくい場合はスタッフに声をかけてほしい。

以上